

劇団アンゲルス第15回本公演
フェスタバイカル2010 参加作品

鴨かも

とどまることを知らぬ愚弄の果てに

猫りょう

もしもし、……誰だつて？ 俺だ、ジローロフだ、……
死んだ？……誰が死んだつて？……おれが！……
……いや、生きてるよ。これから猫に行こうというのに、
死ぬなんて、それだけはごめんだよ！
……何？ 俺が狂つた？

外国籍者30名招待いたします。 We invite 30 foreigners for free! Please sign up!

2010年12月2日(木) 19:30開演

※開場は開演の30分前です

3日(金) 15:00開演 / 19:30開演

金沢市民芸術村ドラマ工房Pit2

【主催】劇団アンゲルス【共催】石川県ロシア協会【後援】石川県・かなざわ演劇人協会

【入場料金】

一般 2,000円

高校生以下 1,000円

【チケット取扱】

石川県ロシア協会

劇団アンゲルス事務局

金沢市彦三町2-10-13 TEL:076-264-3078

金沢市民芸術村

劇団アンゲルス第15回公演／フェスタバイカル2010参加作品

作品：「鴨獺」=とどまることを知らぬ愚弄の果てに=

原作：A・ヴァンピーロフ（A. Вампилов）

台本・演出：岡井直道

出演：月原豊／下條世津子／澤田春菜／川本千晴

+<劇団ひまわり金沢> LAVIT／東義久／内多優、他

音楽：池田洋一郎 照明：宮向隆 舞台監督：本庄亮

日時：2010年12月2日(木)19:30 3日(金)15:00/19:30 (全3回公演)

入場料金：【一般】2,000円【高校生以下】1,000円

招待：外国籍者30名 ※メールでお申込下さい

チケット取扱：石川県ロシア協会/劇団アンゲルス/金沢市民芸術村

会場：金沢市民芸術村ドラマ工房Pit2

死んだものたちが、
砂漠の蜃気楼の中に陽炎の絵のように浮かび上がる。
——肉体的に健康で仕事にも新居にも恵まれ、
女たちにもてる男が突然生きる調子を狂わせていった。
生きることに退屈している男・・・
とどまることを知らぬ愚弄の果てに、
一人の“英雄”の姿が浮かび上がるか。



アレクサンドル・ヴァムピーロフ

(1937-72)

イルクーツク州生まれ。1961年、サーニンのペンネームで短編集『事情があつて』を出版、以後戯曲を書き始める。1964年に『六月の別れ』（邦訳は『去年の夏、チュリームスクで』（群像社）に収録）を発表し、1971年『去年の夏、チュリームスクで』にいたるまで7本の戯曲を書いた。生前は検閲の壁に幾度となく阻まれたながらも、チャーホフの再来と騒がれた人気の新鋭作家であったが、惜しくもバイカル湖上で事故死。いまだにその人気は衰えない。

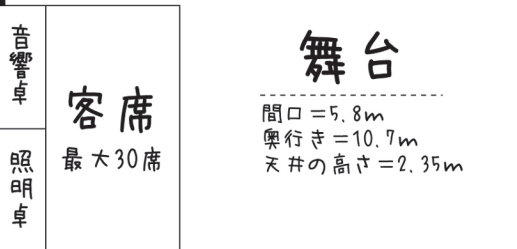
会場までのアクセス



会場には無料の駐車スペースがありますので、お車でのご来場が便利です。

小劇場アンスタジオで公演しませんか？

← 入口



公演、小発表会、稽古も出来ます。レジデンス滞在もOK！
【基本料金】1区分(6時間)1,000円
使い方や、予算など、様々な相談に応じます。ご相談下さい！

アンカフェとは・・・

普段はアンゲルスの事務所として使用していますが、毎週土曜日は18:30～An.Cafeオープンデーと称し、一般開放しています。大画面スクリーンで映画や芝居上演ビデオを上映したり、各種ライブイベントを開催しています。詳細はHPで！

こんな上映会をしたい！とか、美術作品を紹介する会を開きたい！とか、朗読会や勉強会をしたい！・・・などなど持ち込み企画も歓迎します、お問合せ下さい。

※駐車場はありません。公共機関や近隣パーキングをご利用下さい。



アンゲルスでは、劇団員を募集しています。
年齢・性別・国籍・経験は問いません。
準劇団員(団費・月五千元)からはじめませんか？

まずは連絡下さい。

兼六ビル

劇団アンゲルス www.theater-angelus.com angelus@spacelan.ne.jp

〒920-0108 金沢市彦三町2-10-13兼六ビル 076-264-3078

劇団の所在地は、QRコードから地図をゲットしてね ⇒



Angelus
アンゲルス